

昇龍道プロジェクト推進協議会

平成25年9月27日発表



連絡先：中部運輸局 企画観光部

廣瀬、菊川

TEL 052-952-8005

北陸信越運輸局 企画観光部

西川、加藤

TEL 025-285-9181

「昇龍道プロジェクトアクション・プラン」を策定

昇龍道プロジェクト推進協議会では、9月26日開催の第4回協議会において、「外国人宿泊者数を平成26年末までに400万人泊へと倍増させる」とした発足当時の目標を確実に達成し、将来目標として600万人泊を目指すための行動計画として「昇龍道プロジェクトアクション・プラン」を策定しました。

今後、昇龍道プロジェクトへの賛同者の裾野を広げ、幅広く昇龍道プロジェクト協議会への参画を募り、昇龍道プロジェクトを大きな流れとしていく上で、目指すべき方向性を明確にし、必要な取り組み方法を関係者で共有し、実行することを目指します。

(別添「昇龍道プロジェクトアクション・プラン」概要版を参照)

※アクション・プラン本文は下記のアドレスからダウンロード可能です。

<http://www.tb.mlit.go.jp/chubu/kikaku/syoryudo/index.html>

昇龍道プロジェクト アクション・プランの概要



1. アクション・プラン策定の狙い

昇龍道プロジェクト推進協議会における「外国人宿泊者数を平成26年末までに400万人泊へと倍増させる」とした発足当時の目標を確実に達成し、将来目標として600万人泊を目指すための行動計画として策定。

今後、昇龍道プロジェクトへの賛同者の裾野を広げ、幅広く昇龍道プロジェクト協議会への参画を募り、昇龍道プロジェクトを大きな流れとしていく上で、目指すべき方向性を明確にし、必要な取り組み方法を関係者で共有し、実行することを目指すもの。

2. アクション・プランの5つの柱

(1) 受入環境水準の向上等

観光施設やホテル・旅館でのWi-Fi環境整備の推進や公共交通機関における多言語化の推進、さらには、インバウンド専用切符や周遊切符の開発・販売、ムスリム旅行者への対応の強化など。また、北陸新幹線金沢延伸の活用、昇龍道エリアへのエアライン、外航クルーズ船の誘致の強化、名古屋の知名度向上(グルメ・ショッピングなど)を図る。

(2) 一貫したプロモーション

有力な海外メディアへのアプローチ、現地博覧会への出展や観光セミナーなど、これまでの取り組みを継続しつつ様々なチャネルを使ってのアプローチにより昇龍道の魅力をPRする。また、昇龍道DVDの作成、昇龍道ホームページの強化と共に、主要イベント等でのPR強化を図る。

(3) 市場への戦略的なアプローチ

日本と対象国の実情に詳しいサポーターの活用等

(4) 昇龍道プロジェクトの活動内容の発信

定期的なメールマガジンでの情報提供、国内各地の観光博・セミナーへの積極的参加や大学との連携による事業への大学生の活用など、情報の発信と取り組みの連携を強化

(5) 関係省庁との連携

オールジャパンでの取り組みの一環として昇龍道プロジェクトでも地方関係機関との連携強化を図る。

3. 今後の予定

- 今後、協議会関係者等が連携して、アクション・プランに盛り込まれた項目を実施することにより、昇龍道におけるインバウンド客増加を図る。
- アクション・プランの実施状況を的確にフォローし、PDCAサイクルにより、必要に応じて、内容を見直す。